

北海道エゾシカ管理計画 管理水準決定までのロードマップ（案）

- ・各水準の算出方法を決定する。
 - ・各水準の算出に必要な指標を収集する。
 - ・各水準について、地域別に現在値と5年後の目標（当面の目標）を定める
- ・地域区分：（東部・西部・南部） → （東部・西北部・西南部・南部）
（振興局別・市町村別）

被害の現状

被害額	
被害面積	

→ 被害の許容水準

被害額	
被害面積	
生息密度	

→ 大発生水準

個体数	
個体数指数	

被害許容水準
1980年代の水準？

現在値

個体数	
個体数指数	

→ 指標

被害額	
被害額目標	
生息密度	
生息密度目標	

→ 暫定目標水準

個体数	
個体数指数	

大発生水準以上への増加リスク ○%以下
最低必要資源量以下への減少リスク ○%以下

※ 計画期間中の短期目標となる数値。KPI
固定ではなく、毎年見直しできるように記載

施設情報

施設数	
施設数目標	
施設分布	
施設分布目標	
処理能力	
処理能力目標	

→ 施設維持に必要な頭数

処理頭数	
処理頭数目標	
需要量	

→ 処理頭数確保に必要な捕獲数

捕獲数	
利活用率	
利活用率目標	

→ 最低必要資源量水準

個体数	
個体数指数	

施設維持運営
個体数 × 年間増加率 ≧ 捕獲数

※ 需要と供給能力は時期により変動

※ 最低必要資源量水準が大発生水準を超える場合は、利活用率目標の上方修正
や生産能力（歩溜まり）の向上、養鹿等による資源確保などの対策を検討

許容下限水準

個体数	
個体数指数	

絶滅リスク ○%以下